

Sustainability Report 2019

JCRファーマ 株式会社

サステナビリティの基本方針

「医薬品を通して人々の健康に貢献する」という企業理念に基づく事業活動を通じて、持続可能（サステナブル）な社会の発展に貢献します。

JCRは、「医薬品を通して人々の健康に貢献する」という企業理念のもと、1975年の創業以来、時代を先取りした再生医療・遺伝子組換え・遺伝子治療技術で、希少疾病を中心としたアンメット・メディカルニーズ（未だ満たされていない医療ニーズ）に応える画期的な新薬の創出に挑戦しています。
地球環境や社会を取り巻く状況・課題は、年を追うごとに変化していますが、JCRは、事業活動を通じて持続的な企業価値創造を図り、持続可能な社会の発展に貢献することが重要であると考えています。
社会に貢献し信頼される製薬企業として、「希少疾病（レアディジーズ）」、「環境」、「社会」、「コーポレート・ガバナンス」を重点領域として、積極的な取り組みを推進していきます。

Contents











P.25 データ集

Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

メッセージ

希少疾病（レアディジーズ）、環境、社会、コーポレート・ガバナンスを重点領域として、ESGの観点から、サステナビリティの実現を目指します。

JCRは、創業以来、常に「一歩前に出る」企業として、独自の強みを育み、持続的成長を実現してきました。希少疾病・難病への取り組み、そして日本発・世界初の新薬の開発・創出は、JCRの重要なミッションであると考えています。

JCRは、希少疾病（レアディジーズ）、環境、社会、コーポレート・ガバナンスを重点領域として、事業活動を通じてそれらの課題を解決し、その成果を社内外の幅広いステークホルダーに還元・共有しながら、ESGの観点から、サステナビリティの実現を目指します。

JCRは、「グローバルで存在感のある研究開発型企業」を目指すとともに、全社一丸となってサステナビリティに取り組み、企業理念である「医薬品を通して人々の健康に貢献する」を着実に実現していきます。今後も変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役　経営戦略担当　芦田 透



Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

希少疾病（レアディジーズ）

創業当時から希少疾病用医薬品の研究開発を進めている企業として、
患者の皆さんの支援につながる啓発活動に取り組んでいます。



Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

希少疾病（レアディジーズ）

RARE DISEASEプロジェクト

RARE　DISEASEプロジェクトは、「希少疾病にJCRのできること」をモットーに、JCR全従業員が希少疾病に対するさらなる理解を深めるため部門横断的に結成された社内啓発プロジェクトです。希少疾病への理解を深めるための情報収集・社内への情報発信、患者会や希少疾病支援団体との連携・支援活動を行っています。社内における啓発活動として、Rare Disease Dayに合わせたオフィシャルバッジの着用や募金活動、患者会や希少疾病支援団体のイベント参加レポートなどの配信、社内講演会などを行っています。社内講演会では、希少疾病の専門家の先生や、患者会の方をお招きして、病気のメカニズムや、実際の体験談などをお話いただいています。

2019年１月には、地元兵庫県芦屋市でJCR初となる市民公開講座「希少難病をもっと知ろう」を開催しました。希少疾病の専門家の先生や患者支援団体代表、国立成育医療研究センター「もみじの家」ハウスマネージャーに講演をいただき、芦屋市民の方々を中心に、希少・難治性疾患に関する知識の啓発に努めました。



RARE DISEASEプロジェクトチーム

Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

希少疾病（レアディジーズ）

Rare Disease Day

2015年度から「Rare Disease Day（世界希少・難治性疾患の日）」に協賛しています。希少・難治性疾患に苦しむ人は世界中にいますが、患者数が少なく、病気のメカニズムが複雑なため、治療薬・診断方法の研究開発がほとんど進んでいない例もあります。

Rare Disease Dayはより良い診断や治療による希少・難治性疾患の患者の皆さんの生活の質の向上を目指して、スウェーデンで2008年から始まった活動です。この取り組みが、患者の皆さんと社会をつなぐ架け橋となり、希少・難治性疾患の認知度向上のきっかけとなることが期待されています。





募金活動

JCRでは、Rare Disease Dayにちなみ、毎年2月に社内にてRare Disease Dayオフィシャルバッジの着用や募金活動を行っています。寄せられた募金は、希少疾病の患者の皆さんへの情報提供、医療従事者との連携や治療法開発にかかわる研究促進、および社会に対する啓発を事業目的として活動している団体へ寄付しています。

2014年度	205,159円
2015年度	164,570円
2016年度	145,969円
2017年度	192,990円
2018年度	261,634円

・2018 年度の活動報告
https://www.jcrpharm.co.jp/sustainability/pdf/rare_2018_191011.pdf
・2017 年度の活動報告
https://www.jcrpharm.co.jp/sustainability/pdf/rare_2017_180329.pdf
・2016 年度の活動報告
https://www.jcrpharm.co.jp/sustainability/pdf/rare_2016_180525.pdf

Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

Message

RARE　DISEASEプロジェクトは、部門横断的に結成された社内啓発プロジェクトとして2016年から活動を開始し、現在では、社内各部門より、総勢13名のメンバーで活動を実施しています。
私たちの活動内容は、①希少疾病への理解を深めるための情報収集・社内への情報発信、②患者会や希少疾病支援団体との連携・支援活動の二本柱です。具体的には、患者会等のセミナーへの参加・交流・レポートの社内配信、社内講演会の開催、社内募金活動、Rare　Disease　Dayイベントの社内周知・全国イベントへの参加などの活動を行っています。
また、本年は弊社創業の地、芦屋市にて希少難病に関する市民公開講座を開催し、地域の皆様への啓発活動も実施することができました。
今後も、希少疾病に対する啓発活動の幅を広げていきたいと思います。

RARE DISEASEプロジェクト マネージャー
中島 孝典



Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

環境

CO_2排出量の削減や水資源の有効活用など、
環境負荷の軽減を目的として、様々な取り組みを進めています。



Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

環境

JCRでは、CO_2排出量の削減や水資源の有効活用、環境負荷の軽減を目的として、様々な取り組みを行ってきました。例えば、全社でのLED照明への切替え、営業車および工場・研究所の社用車のハイブリッドカー・電気自動車への切替え、製造現場での水使用量の削減とともに製造設備の効率的な活用を目的としたシングルユースリアクターの採用などを推進してきました。
2015年には、拠点間の移動用に電気自動車を導入し、あわせて本社および工場・研究所に給電システムを設置しました。営業活動に供する車両については、現在約半数がハイブリッドカーとなっています。今後、公共の充電設備の普及に応じて、順次、電気自動車への切替えを行います。2016年には、研究所（神戸市西区）に太陽光発電システムを導入しました。さらに、関西電力株式会社と協力して生産活動におけるエネルギー消費の改善活動に取り組んでいます。

エネルギー使用量



水資源



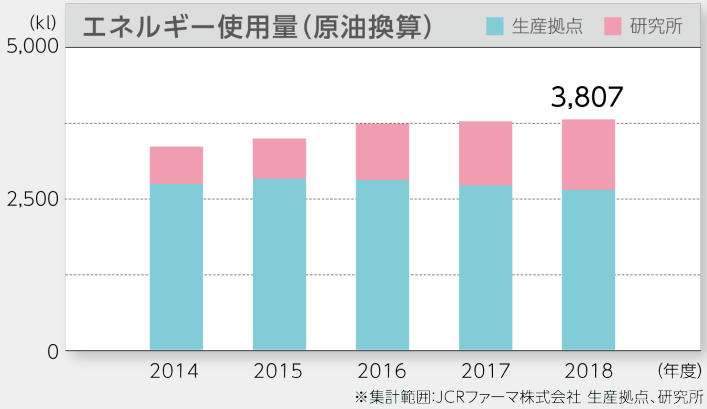
環境負荷



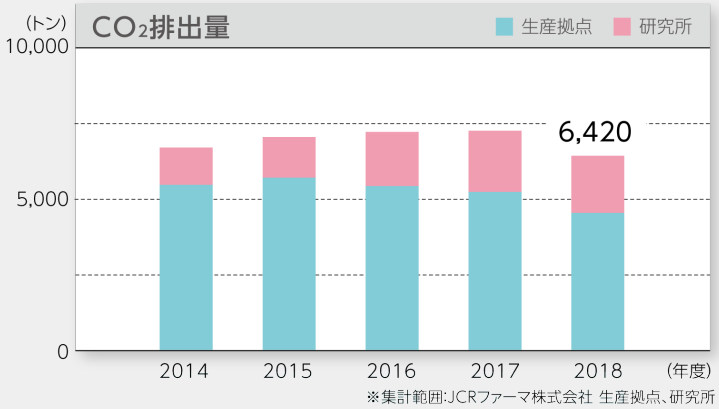
Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

エネルギー使用量

JCRでは、業績拡大に伴い、総エネルギー使用量（電気、ガス）は増大傾向にあります。研究本部では、2016年の治験薬製造センターおよびセルプロセッシングセンターの稼働により総エネルギー使用量が増加しています。生産本部では、エネルギー効率の高い設備の導入やエネルギー使用方法の見直しなどにより、総エネルギー使用量は一定レベルで推移しています。営業活動に伴うエネルギー使用量（主にガソリン）については、2019年度よりデータの取得を予定しています。



※集計範囲:JCRファーマ株式会社 生産拠点、研究所



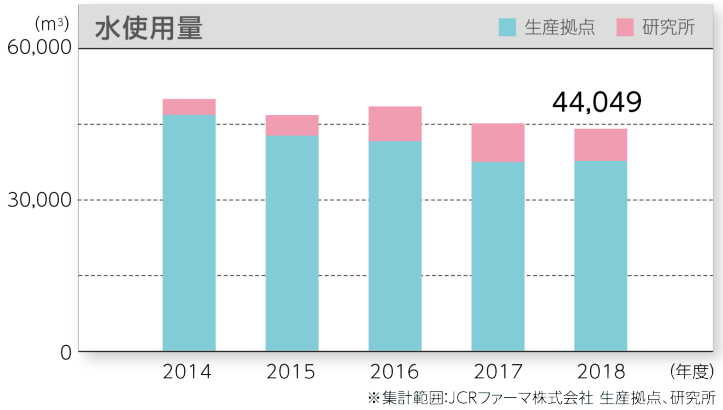
※集計範囲:JCRファーマ株式会社 生産拠点、研究所

Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

環境

水資源

水資源に関しては、研究および生産工程に使用する水量の削減や廃蒸気の回収・再利用等の推進の結果、業績拡大にも関わらず、減少傾向となっています。研究・生産活動に伴い使用した水は、全て適切に処理を行っています。



※集計範囲:JCRファーマ株式会社 生産拠点、研究所

環境負荷

JCRでは、温暖化の原因となるフロンについては、フロン排出抑制法を遵守し、法定点検（簡易点検、定期点検）の実施と発生源となる冷蔵設備の台数管理、漏えい量のモニタリングを行っています。騒音については、騒音規制法を遵守し、周辺環境への影響を考慮して設備等の設置を行っています。

排水については、水質汚濁防止法および下水道法を遵守し、かつ、条例に従い、原材料の種類を考慮した項目（pH、BOD、重金属類等）、頻度にてモニタリングを行っており、いずれの項目についても法定の環境基準内であることを確認しています。

廃棄物については、廃棄物処理法および条例を遵守して産業廃棄物の処理を行っており、段ボールなどのリサイクル可能な一部資材については、リサイクルを行っています。

これまでのところ、研究・生産活動における上記取り組みにより、法定基準値を超える環境負荷は確認されていません。廃棄物重量、リサイクル率などについては、これまでも適切に処理を行っていましたが、重量換算可能なデータを取得していませんでした。これらの情報については、2019年度以降、収集を予定しています。

Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

社会

全ての社員にとって働きやすい環境づくりを進めるとともに、
社会に向けた様々な活動に取り組んでいます。



Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

労働環境に関する取り組み

働き方改革を実現するための
フレキシブルな勤務制度の導入

仕事もプライベートも大切という考えから、フレックス制度の導入や年次有給休暇の時間単位での取得を可能とするなど、働き方改革の実現に向けフレキシブルな勤務制度を導入しています。

AED（自動体外式除細動器）の導入

JCRは、各事務所や研究所、各工場にAED※を設置しています。

※AED：心室細動（心臓が細かく震え、全身に血液を送れない状態）を起こした心臓に電気ショックを与えて、正常な状態に戻す医療機器。



育児対象者へのバックアップ

育児を行っている社員に対して、研究所内において事業所内保育所を設置しています。また、勤務地の関係で事業所内保育所を利用できない社員に対しては、毎月「保育補助金」を支給し、バックアップしています。これらの取り組みなどが評価され、2018年7月に厚生労働省より「くるみん認定」を取得しました。



事業所内保育所「JCRキッズランド」

Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

労働環境に関する取り組み

風通しの良い職場環境形成への一助

同じ職場で働く仲間との親睦を深めるため、「部内親睦会補助金制度」を導入しています。この制度は、部内で開催される新入社員歓迎会や暑気払い、部署異動や退職時の送別会等幅広く利用されています。また、毎年11月にはボジョレー・ヌーヴォーの試飲会の開催や年末の納会も開催しています。その他、工場・研究所を中心に年1回社内取締役との昼食会の開催を実施するなど、風通しの良い職場環境の形成に取り組んでいます。また、年に2回発行する社内報は読者参加型を目指し、様々な企画を行っています。

働きやすい、安心して働ける職場環境づくり

社員が健康で働きやすく、安心して働ける環境づくりとして、会社から年次有給休暇の取得を促すため、「有給休暇取得奨励」を行っています。また、インフルエンザ予防接種の集団受診や35歳以上の希望する社員には人間ドッグ受診補助も行っています。職場環境の改善について、毎月1回全社で安全衛生委員会を開催し、改善が必要な点がある場合は、対応を協議しています。また、産業医として3名の医師を選任しており、内1名は精神保健指定医とし、メンタルヘルスケアに努めています。その他、研究所内に「JCRオアシス」として、マッサージを受けられる体制を整備し、仕事中にリフレッシュができる環境を設けています。

会社への帰属意識向上に向けた取り組み

人を大切にしている会社として、毎年9月の創立記念日には永年勤続表彰を行い、全社員に創立記念品を配布しています。また、創立記念ゴルフコンペを開催し、多くの社員が参加しています。その他、バレンタインデーには地元の洋菓子を全社員に配布しています。

Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

労働環境に関する取り組み

福利厚生の充実

JCRでは、今後のグローバル展開を見据えて、入社3年目を越えた社員を対象に毎年「ヨーロッパ研修旅行」を実施しています。2018年度は、28名がフランス、ルクセンブルク大公国を訪問し、2019年度は40名がイタリア、ルクセンブルク大公国を訪問する予定です。また、福利厚生のアウトソーシング企業と複数契約をし、レジャーや資格取得のサポート、子育て支援等のサービスを社員の家族を含め利用することができるなど、福利厚生の充実化を図っています。

研修制度の充実

JCRでは、社員のスキルアップが会社の成長へつながるという観点から、社員研修に注力しています。新卒で入社した社員には入社後1ヵ月間、集団研修を実施しており、ビジネスマナーの研修や、コミュニケーション能力向上の研修、各本部からの説明、工場・研究所での実地研修、MR同行研修などを実施しています。また、社員の各階層に応じた階層別研修を定期的に開催し、英語研修も実施しています。

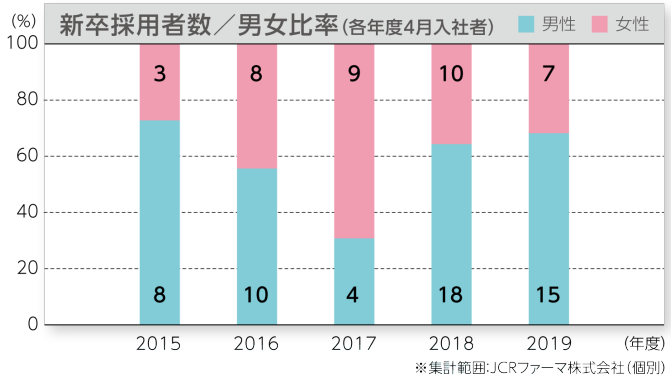
女性社員が活躍できる職場づくり

2018年10月には、女性の職域拡大、女性管理職比率の上昇（2012年度5.8% / 2018年度10.3%）、事業所内保育所の整備、男性の育児参加促進に向けた取り組みなどが評価され、兵庫県から「平成30年（第3回）ひょうご女性の活躍企業」に表彰されました。また2019年1月に、女性活躍推進法に基づき、女性の活躍推進に関する状況等が優良な企業として、厚生労働大臣より「えるぼし（2段階目）」の認定を取得しました。

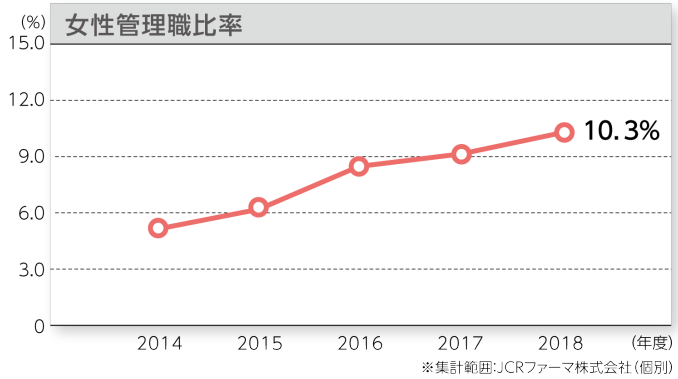


Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

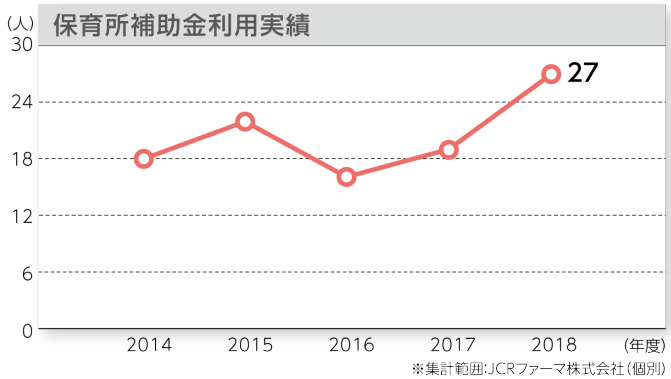
労働環境に関する取り組み



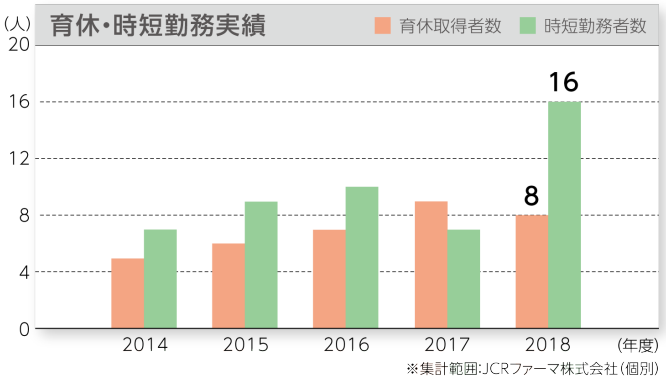
※集計範囲:JCRファーマ株式会社(個別)



※集計範囲:JCRファーマ株式会社(個別)



※集計範囲:JCRファーマ株式会社(個別)



※集計範囲:JCRファーマ株式会社(個別)

Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

社会に向けた取り組み

保健医療分野における様々な活動を支援するとともに、
地域社会に貢献する取り組みを進めています。



学習機会向上への支援

・スイス非営利財団「GLOBAL　FOUNDATION FOR LIFE SCIENCES」への支援

医学分野において医療的に恵まれない環境にある諸国における人道的支援に取り組んでおり、また、若い研究者の育成支援も行っています。



Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

社会に向けた取り組み

社会貢献への取り組み

・「母子保健奨励賞（母子衛生研究会主催）」に協賛

地域に密着した母子保健の分野で貢献し社会に多大な寄与をしている個人の功労を奨励することにより、母子保健の一層の発展につながることを目的としている「母子保健奨励賞」に協賛しています。

母子保健奨励賞のサイト
http://www.mcfh.or.jp/shoureishou/index.html



写真提供：公益財団法人母子衛生研究会

・医療型短期入所施設「もみじの家」への寄付

JCRは、2016年4月に国立成育医療研究センター（東京都世田谷区）の敷地内に、日本で初めての子どもホスピスとして設立された「もみじの家」の支援を行っています。「もみじの家」は、在宅で常時医療ケアが必要な子どもがいつでも医療ケアを受けられ、重い病気や障害をもつ子どもと家族が自宅のようにリラックスし、安心して過ごすことができる施設です。

もみじの家のサイト
http://home-from-home.jp/



もみじの家

Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

社会に向けた取り組み

地元兵庫県に対する支援

JCRは本社所在地である兵庫県への地元貢献活動として、様々な取り組みを行っています。

・高校生に対する「研究所見学会」の実施

2016年から兵庫県立三木高等学校の理系進学希望の２年生を対象にキャリア教育の一環として「研究所見学会」を実施しています。JCRの若手研究員が、研究内容や自己の仕事内容の説明、理系への進学を希望した動機や高校時代のクラブ活動、学習方法等に関する話をすることで、高校生の将来の進路決定の一助となるような活動を行っています。



・その他の取組み

- 中学生に対する「出前授業」（キャリア教育）の実施
- 神戸まつりへの協賛
- 神戸ルミナリエへの協賛
- リレーフォーライフ芦屋への協賛
- 打出天神社への寄付

Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

コーポレート・ガバナンス

持続的な企業価値創造に向けて
コーポレート・ガバナンスの強化を進めています。



Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

コーポレート・ガバナンス

JCRグループでは、良質でより有用な医薬品･医療用機器を社会に提供するため、経営の適法性、透明性、そして客観性を高めることを目指し、さらに企業価値を高めることと同時に、株主の利益保護を担保する体制を構築することが重要であると考えています。そのため有効な内部統制システムの整備・運用を確保し、その有効性の評価を自ら行い、企業としての社会的責任を果たすべく努力していきます。
JCRは、監査役会設置会社の形態のもとで、社外取締役4名を含む9名で構成される取締役会、社外監査役5名で構成される監査役会および会計監査人を設置しています。これらの機関のほかに経営統括委員会、指名・報酬等諮問委員会、経営会議、内部監査部、内部統制委員会、コンプライアンス委員会および安全衛生委員会を設置しています。ガバナンスの構成としては、当社の現状で業態に即した適切な規模であり、効率的な経営が可能と考えています。また、社外取締役4名、社外監査役5名を含んだ現状のガバナンス体制は、経営の透明性、客観性（公平性）および経営監視の独立性確保に有効であると判断しています。

コーポレート・ガバナンスの詳細ページ
http://www.jcrpharm.co.jp/ir/governance.html

Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

コンプライアンス

コンプライアンスについては、法令、グローバルスタンダード、業界の各種規範などを遵守するとともに、高い倫理観を醸成する企業風土を日々の企業活動のなかで育むことが重要であると認識しています。
JCRは、社内規範と企業倫理に沿った経営ならびに法令順守の実践・推進のため、コンプライアンス委員会を設置しています。当委員会は取締役・コンプライアンス統括責任者の芦田透を委員長とする、当社取締役・執行役員・外部有識者などによるコンプライアンス統括委員会と、コンプライアンス統括委員より指名・社長の芦田信から任命された社員によるコンプライアンス推進委員会で構成されています。
JCRのコンプライアンス推進のため、定期的な会議の開催、コンプライアンス行動計画・方針の決議、また、コンプライアンス行動基準とコンプライアンス・ハンドブックに則した社員の研修・教育、ならびにコンプライアンス通信による周知・啓発を行っています。

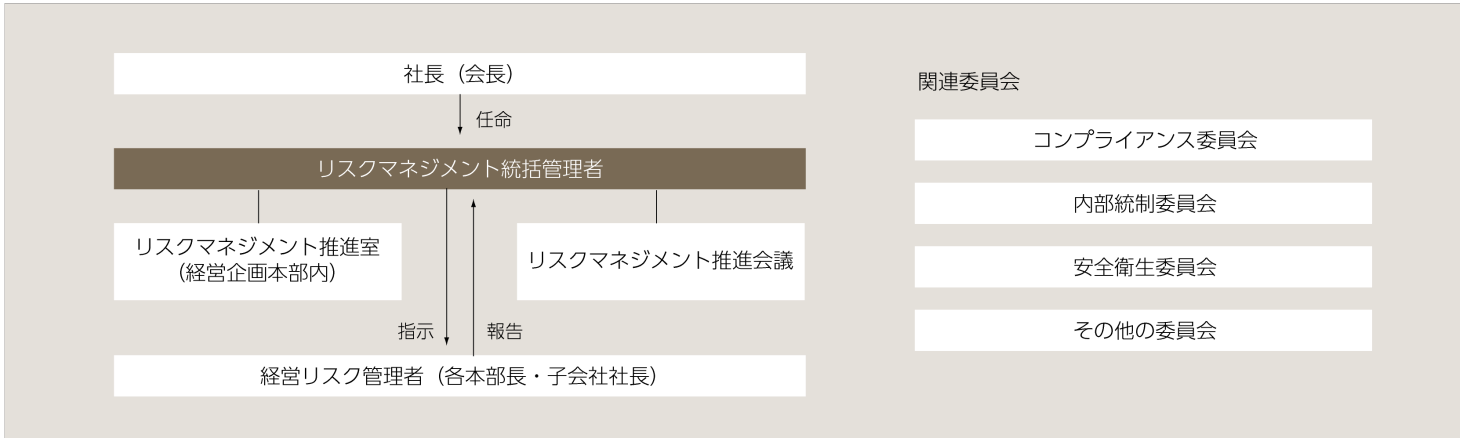
コンプライアンスの詳細ページ
http://www.jcrpharm.co.jp/company/compliance.html

Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

リスクマネジメント

JCRは、医薬品という人々の健康に関わる製品を扱う企業として、リスクマネジメント基本規定のもとでリスク管理体制を構築し、企業活動におけるリスクを把握するとともに各部門においてリスク管理に関する手順書を制定しています。また、リスクマネジメント推進室、内部統制委員会およびコンプライアンス委員会をはじめとする関連委員会の連携を図りながら、リスク発生の予防、リスク管理、発生したリスクへの対処などに対応できる体制を構築しています。

リスクマネジメント体制



Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

リスクマネジメント

なお、JCRとして認識すべき重要リスクのリスト化を行い、BCP（事業継続計画）項目として下記の3項目を選定および策定しており、策定したBCPは各年度で見直しを図り、必要に応じて改訂を行います。
①「グロウジェクト®」供給障害発生時の対応策
②大規模災害発生時の全社対応策
③重大コンプライアンス違反発生時の対応策

またJCRは、特に医薬品企業として、法令に則った製造販売業の三役（総括製造販売責任者、品質保証責任者、安全管理責任者）会議を定期的に開催し、医薬品の品質、有効性、および安全性を確保する体制を構築しています。
さらに、JCRはグローバルへ業容を拡大するなかで、世界水準の医薬品品質システムを導入し、より高度な安全性を追求していきます。

Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

データ集

（2019年3月末時点）

社会				
（JCRファーマ株式会社 単体）	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
社員数（名）	482	522	540	613
研究	78	88	98	129
開発	22	26	27	32
生産	200	208	209	230
営業	102	108	112	117
信頼性	22	25	26	31
その他管理	58	67	68	74
男性（名）	322	347	352	385
女性（名）	160	175	188	228
男性管理職（名）	136	151	160	165
女性管理職（名）	9	14	16	19
女性比率	33.2%	33.5%	34.8%	37.2%
女性比率（管理職）	6.2%	8.5%	9.1%	10.3%
新入社員男性（名）	8	10	4	18
新入社員女性（名）	3	8	9	10

Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

データ集

（2019年3月末時点）

社会				
（JCRファーマ株式会社 単体）	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
平均年齢（歳）	41.1	41.4	41.6	41.4
勤続年数（年）	8.3	8.6	9.0	8.8
障がい者	5	7	8	8
障がい者雇用率	1.2%	1.7%	1.9%	1.6%
退職者（名）	5	2	13	9
離職率	1.3%	0.5%	2.9%	1.8%
有給休暇取得率	49.0%	55.7%	58.4%	68.1%
平均残業時間（時間）	13.0	12.7	12.6	12.5
産休取得者数（名）	6	7	9	8
時短勤務者数（名）	9	10	7	16
保育所補助金利用者数（名）	22	16	19	27

（休職を伴わない）労働災害件数（件）	0	3	4	2
（休職を伴う）労働災害件数（件）	0	0	0	0

投資家面談数（日本）	47	81	129	103
投資家面談数（海外）	10	23	6	20

Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

データ集

（2019年3月末時点）

ガバナンス

（名）		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
取締役会の構成	取締役	9	9	8	9
	うち社外取締役	4	4	3	4
	うち女性取締役	1	1	0	1
監査役会の構成	監査役	4	4	5	5
	うち社外監査役	4	4	5	5
経営会議の構成	取締役	5	5	6	6
	うち社外取締役	0	0	1	1
	うち女性取締役	0	0	0	0
	監査役	1	1	2	2
	うち社外監査役	1	1	2	2
	執行役員	8	7	8	7
	うち女性執行役員	1	1	1	2
	アドバイザー	1	3	1	1

Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

データ集

（2019年3月末時点）

環境					
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
電気（1,000kWh）	研究本部	2,572.489	3,607.734	4,107.132	4,512.009
	生産本部	8,400.446	8,319.669	7,973.610	7,678.841
水道（m^3）	研究本部	4,059.000	6,916.000	7,670.000	6,389.000
	生産本部	42,658.000	41,529.000	37,412.400	37,660.000
ガス（1,000m^3）	研究本部	0.07	0.08	0.09	0.07
	生産本部	592	590	590	604
BOD（t）				1.85	2.47

Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.

サステナビリティレポート2019

- 対象期間：2018年度（2018年4月1日～2019年3月31日）

※一部、2019年度の内容も含みます。

- 対象組織：JCRグループ（JCRファーマ株式会社、連結子会社6社）

※上記対象範囲と異なる場合は、注記で示しています。

JCRファーマ株式会社
〒659-0021兵庫県芦屋市春日町3-19
TEL 0797-32-8591（代）

Copyright © 2019 JCR Pharmaceuticals Co., Ltd. All rights reserved.